

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとして、入居者一人ひとりが地域の方々と係わりながら、その方の生活リズムを大切にしたい穏やかな暮らしの中で「幸せだ～」と思える施設を目指します。	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	地域の方々との係わりを望む中、地元の小、中学生や語り部、フラダンスやそば打ちの方々、そして、外出先での出会いなど、幅広い年齢層の人達とのふれあいを大切にさせて頂いています。	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	地域密着型サービスに変わった時点にて、ご家族に伝えると共に、地元の方々の参加ある「運営推進会議」の中でも話題にし、分かって頂いています。	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近くの商店（食材の購入などで）の方々との馴染みの関係や、近所の方々との挨拶（朝夕の犬の散歩の際）、又、入居者との散歩の途中でも、通りすがりの人達との立ち話など係わらせて頂いています。	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	今の所、まだまだ納得できるまでに至っておりませんが、「運営推進会議」の中にて少しずつではありますが面識も出来てきており、毎年1月恒例の“どんど焼き”には続けて参加させて頂いております。	○ これからは、施設側より積極的に係わることで、地域との信頼関係につなげていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>	○	<p>今後は、民生委員や、地域包括支援センター職員とのつながりの中、係わって行きたいと思えます。</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入所の際に、重要事項の説明は勿論のこと、不安や質問等にも答えるなど時間をかけ、納得して頂けるよう心掛けています。</p>	
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者との日頃のなにげない会話でのやりとりや、行事(家族や地域参加もある夏祭りや、中学生やそば打ちの方々、又、駐在さんも参加頂く芋煮会の場)等のふれあう場を通して、普段思っていることを引き出すよう心掛けています。</p>	
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の面会時には日頃の様子伝え、又、施設対応での通院あった際でも、その日の内に状況報告行うなど、家族に安心して頂けるよう努めています。</p>	
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時での帰り際や、運営推進会議内等において、遠慮なく本音を聞かせて頂きながら参考にさせて頂いております。</p>	
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月、第2月曜日に実施中の定例会や、担当者会議などの場にて、現場の確認や意見交換に努めています。</p>	
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>定例会の中で予定される、外出(初詣、お花見、ドライブ・・・)や行事(節句、七夕、夏祭り、クリスマス会・・・)等の際は、十分な目配りをふまえ普段より多くのシフトにて対応するよう努めています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日々係わる中、認知症の方々にとって馴染みの関係を保つ事の大切さを重視し、よって、職員の配置移動は行なっておりません。		
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症実践者研修への参加や、毎月実施中である法人内での合同学習会等において、職員一人ひとりが知識を身につけられるよう取り組んでいます。		
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内ケアマネージャー連絡協議会での交流や勉強会への参加、又、他施設との職員旅行実施中などにより、日頃の悩み解消につなげています。		
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ユニット内に置いて、職員一人ひとりが、普段気になっている事など、何でも気楽に意見を書き込めるノートを作り実施中。又、勤務中でも職員間で声掛けあいながらを心掛けています。	○	今後、敷地内（畑となっている）に、職員の休憩室建設の予定あり。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、職員個々の努力や実績、又、仕事に対する姿勢等踏まえた勤務状況の把握に努めている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所の事前調査として、家族や担当ケアマネからの情報提供や本人の様子観察等行った上での入所となる。又、入所後は、職員それぞれの気づきを記録、確認しつつ本人との係わり、把握に努めています。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	入所申し込みでの来所時や入所の際に、じっくりと時間をかけ、説明や質問等に答えさせて頂くことから始まる。又、面会の際には、本人の様子を伝えつつ信頼関係に努めています。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	電話や訪問にて相談を受けた際は、本人の状況や家族への労をねぎらう言葉を添えながら相談にのるよう心掛けています。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入所前に、事前調査にて本人や家族との話し合いの場を設けたり、本人同伴にて遊びに来て頂く等しています。又、入所直後は、こまめな面会をお願いしたり、本人に不安を与えぬよう十分な目配りに心掛けています。	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の出来ること、出来ないこと、又、職員と一緒になら出来ることなど把握した中で、日々「有難うございます」や「お世話様でした」など感謝の言葉を伝える。と共に、昔の行事食や風習などを教えて頂いております。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	先ず入所時の家族への説明の中で、入所後も本人と家族との係わりがどんなに大切なものであるか、そして、又、施設と家族が情報を共有しながら支えていく旨も伝え係わらせて頂いています。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	こまめな面会など、強い絆で結ばれている家族には感謝の言葉を添え継続に向けての支援を、又、希薄となってしまっている場合には、日頃の本人の気持ちを代弁し家族に伝え分かって頂けるよう心掛けています。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人の面会あり、玄関先で「もう私のことなんか、わからないんでしょうね。会ってもしかたないですよ」などの時でも、「どうぞ」の声掛けにて職員が仲立ちとなり会って頂けるよう努めています。		
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	一人ひとりの能力と利用者間関係をもふまえた上で、職員が仲立ちする中、支えあえるような雰囲気作りに努めています。		
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	医療行為必須の状況にてやむなく退所せざるを得ない場合には、同法人内の特養への紹介や、希望の際は、申し込みの場にも同席し家族が安心できるよう係わらせて頂いています。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の意思を伝えられる方に関してはその思いを大切に、又、意思表示困難な場合でも、家族との話し合いや本人のこれまでの思いを考慮しつつ心掛けています。	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所の際に、今後係わっていく上で、これまでの本人の生活ぶりや人となりを知る必要性を伝えた上で、家族にできるだけ情報の提供頂いたり、又、面会の際にも会話をもつよう心掛けています。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の目配りや様子観察の中、一人ひとりの状況や本人の発した一言などにも耳を傾けつつ、気づき場面の記録に心掛けています。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族の施設に望むことの確認は、面会時の対応の中で何うようにしています。又、職員間では、夜勤等にてサービス担当者会議欠席の職員には事前での依頼書の提出により、全員の意見をすり合わせた上で介護計画の作成行っています。	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じて3ヶ月毎の見直しと共に、又、著しい状況の変化生じた場合にも家族との話し合いの上にて、変更申請の提出や新たな介護計画につなげています。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の係わりの中での気づきや状況の変化等については、ユニット日誌や個人ケースに詳細に記載し、出勤時に必ず確認することで情報の共有を図っています。		
図っています。				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療連携体制や居宅療養管理指導、又、皮膚科往診（1月に2回）等により、日々の健康管理に努めると共に、かかりつけ医への通院介助の支援も行っています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地元の小、中学校（校長先生も）や語り部、フラダンス、そば打ち等のボランティアの方々、それに、「皆さん変わらないですか？」と、顔を出してくださる駐在さん方に協力して頂きながらの支援行っています。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	移動歯科や、移動理美容のサービス利用による支援行っており、家族にも大変喜ばれています。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	入所時、さらには入所後に至ってからも、同敷地内にある地域包括支援センター職員とは密に連絡取り合い情報交換の中、支援につなげています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43	<p>医療連携体制の下、看護師によるバイタルチェック、早期発見、早期治療と共に、かかりつけ医への受診（通院）支援も施設対応にて実施中。</p>		
44	<p>協力病院内に認知症の専門医がおられ、常に適切な診断や指示、又、助言等頂ける体制となっている。</p>		
45	<p>医療連携体制の下、馴染みの看護師による日常の健康管理出来ており、入居者も楽しみにされています。</p>		
46	<p>入院時には、医療行為の必要性がなくなれば、ホームでの受け入れOKの部分伝えながら、病院との情報交換や洗濯物を取りに行きながらの様子観察行っています。</p>		
47	<p>平成19年5月1日より医療連携体制加算の開始と共に、家族への説明、同意書の作成にも至っており、かかりつけ医との共有も図れています。</p>		
48	<p>かかりつけ医による、ホーム内での対応可、又は、否かを判断の上、取り組んでいます。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49 ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	家族や移り住む先のケア関係者の方々と何度も話し合い情報交換を行いながら、又、移動後の状況によっては、その後の連絡も取り合いながらの係わりとさせて頂いています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50 ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	一人ひとりその人らしさを重んじ大切にすること、身支度での心配り（例えば、本人がズボンの中に上衣の物を全部押し込んでしまう場面見かけたら、それとなく上着をズボンの上に出してあげる。等）や、穏やかな声掛けにも注意し、又、記録への配慮にも心掛けています。		
51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人ひとりの能力を把握の上、入浴時の着替えに関しても、最初から手を出すのではなく、本人と一緒に、又は、後から足りない物をそっと補充するような場合もあります。		
52 ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その方の出来ること（針仕事、小物作り、広告でのゴミ箱折、洗濯物たたみ、又、皆さんで唄を歌ったり等々・・・）や又、その他、自室で過ごす時間も、本人の体調管理の上大切な時間となっています。		
たいせつな			
53 ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	日々の身だしなみや外出時は、その人らしい服装となるよう心がけ支援しています。又、本人より「パーマかけたいんだけど」の訴えある時でも、なるべくその日に希望を叶えてあげるよう心掛けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<p>入所の際家族の情報から、趣味やどんなものに興味をもたれていた方なのか？や、その後の日々の係わりから見えてくる中、雑巾縫いや刺し子、それに「もうだめだ、声が出ねえ」と言いつつ得意な民謡を披露したりや、又、皆さんで特大ランプでのゲームの際には、フロア一内が大爆笑となるなど楽しまれています。</p>


項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>		
61	<p>○日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>		
62	<p>○普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	○	<p>今後は家族とも相談し、それぞれの誕生日などを目安に、又、勿論その方の状況等も考慮の上、支援につなげて行きたい。</p>
63	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>		
64	<p>○家族や馴染みの人の訪問支援</p> <p>家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
又			
65	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>		
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>		
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>		
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		<p>消防署の指導の下、隣接施設である、ケアタウン安暮里の職員合同による訓練実施中。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	認知症の進行と共に、本人の行動活発となり共同生活内での見守り困難と判断したため、家族との話し合いの場を持ち、その結果、施設での鍵をかけるケアへの取り組みと、本人の安心、安全な生活を保持するためにも徘徊センサーの使用を提示、納得して頂き、現在に至っております。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	医療連携体制の下、日々の看護師による健康管理と職員の様子観察や気づきの積み重ねにより、早期発見につなげている。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	それぞれの個人ケースの後部に一緒にファイルし、いつでも確認できる状況であることと、日々、服薬の支援と様子観察に努めています。又、薬の量や種類等に変更あった時でも、個人ケースに記録し全員での把握に努めています。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄記録での排便は、赤ペンでの記入とし、分かりやすくなっている。又、献立に関しては、野菜や乳製品を多めに摂るよう心掛けるとともに、おやつや食後の水分に関しても、少なくとも2杯以上飲んで頂き、便秘解消につなげています。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	一人ひとりの能力に応じ、起床時や毎食後、洗面所への声掛けや見守り、又は、一部介助や全介助での支援実施中。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病によるインスリン施行中の方のみ、主治医の指示にて1100キロカロリーの制限あり、主食(100グラム)での提供とし、味噌汁、副食に関しては、他の方より気持ち少なめでの提供に心掛けています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	日頃より、入所者、職員共々、うがい、手洗いの励行に心掛けています。又、この時期、毎月実施の学習会においても、看護師の指導の下”感染症の予防”について勉強し、皆で予防に努めています。(見るからに、感染症の恐れのある面会者に関しては、入所者の健康を優先し、丁重にお引取りを願うこともあります。)		
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎食後や夜間帯において、布巾、まな板、包丁、食器洗い用スポンジ、三角コーナー等・・・必ずキッチンハイターや熱湯での消毒実施中。又、食材購入の際は、日付のチェック忘れずに心掛けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	家族やボランティア、それに同敷地内のディサービスやショート利用の方々にも気兼ねなく出入りして頂けるような玄関周りや、遊歩道に心掛けています。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関やフロア内には、それとなく季節の草花を飾ったり、入居者の慣れ親しんでいる歌の歌詞を貼り一緒に口ずさんだりもしています。又、照明なども間接的なものとし、まぶしすぎぬよう心掛けています。		
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳のスペースがあったり、又、ベランダにはベンチを設置し、マイペースでの歩行訓練や、ゆっくりと日向ぼっこをしている方もいます。又、事務所の来客用椅子が、大のお気に入りの方もいらっしゃいます。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

協力病院である黒磯病院との医療連携体制により、日々の健康管理は勿論、早期発見、早期治療、又、入院時の早期退院等に向け取り組んでおります。